

伊藤忠商事の子会社の日用品・業務用品の専門商社、伊藤忠リーテイルリンク（IRL、東京・中央）が開発するレジ袋やマスクといった日用品における消費者のちょっとした困りごとを解決するアイデア商品は多摩美術大学と組み、左右に引っ張るだけで開くようにして大手スーパーに採用。エアポケットになっ

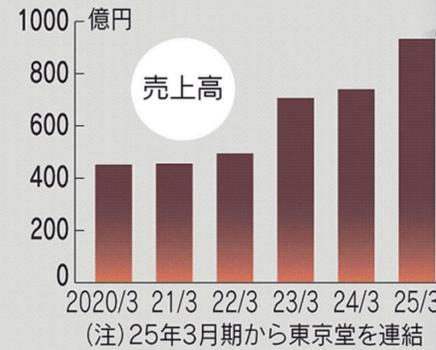
「手が乾燥している、袋が開かなくて困ることがよくある」。都内のスーパーで買い物をする女性。指をスポンジやつばで濡らせるのは、衛生面などから気になる。IRLの「ズレータ」はこの悩みを解消する。ぴったりと重なっている袋左右のマチをすらすら、袋の両端を持って左右に引っ張るだけで簡単に開けるようにした。機械の設定を少し変更するだけで、追加の投資なく作れることも商品化につながった。採用を決めた東急ストアの担当者は「レジ袋が開けづらいという不満のお客さんから上がった。要望に応えられるはずだ」と語る。まずテスト導入した後、全店への展開も検討する。

プチストレス解消カンパニー

レジ袋→すぐ開く/ゴミ袋→10枚まとめてセット

放置されてきた困りごと
卸が解決

伊藤忠リーテイルリンクは日用品・業務用品の専門商社。PBの受託開発で成長



「そこ？」を掘る伊藤忠RL

■トラスコ中山が採用するトラスコ中山が採用するアイデア商品はほかに「PB商品」めくってもゴミ袋として販売する「アンジッパーバッグ」0円で販売する。善案や意見を募った。学生は試作し、実現可能性が高いと判断したズレータはレジ袋の生産を委託する海外の取引先工場を使い、10枚の袋が入れ子式に重なった「ミニ袋」10枚は、ゴミでいっぱいになった袋を捨てる多摩美術大学の学生が考えたアイデアを研究する濱田芳治教授らのプロジェクトを卸売りする。

「手が乾燥している、袋が開かなくて困ることがよくある」。都内のスーパーで買い物をする女性。指をスポンジやつばで濡らせるのは、衛生面などから気になる。IRLの「ズレータ」はこの悩みを解消する。ぴったりと重なっている袋左右のマチをすらすら、袋の両端を持って左右に引っ張るだけで簡単に開けるようにした。機械の設定を少し変更するだけで、追加の投資なく作れることも商品化につながった。採用を決めた東急ストアの担当者は「レジ袋が開けづらいという不満のお客さんから上がった。要望に応えられるはずだ」と語る。まずテスト導入した後、全店への展開も検討する。

開きやすいレジ袋「ズレータ」

両端を持って引っ張るだけ。東急ストアで採用決定

片手で開くジッパー袋

チャックの一部はわざと開けたまま。薬などを入れる際、手軽に開封

スティック型マスク

丸めてあり、胸ポケットでもかさばらず

ゴミ袋の入れ替え楽に

1度に10枚をまとめてセット可能

壁掛けティッシュ。試作したものの、既に製品化されており断念

デザイン付きのポリ手袋。殺風景さの解消を目指したが採算が合わなかった

「失敗恐れず年数百件は試作。提案は原則すべて試作しており、失敗作も3ケタに達する」

IRLの事業は伊藤忠RL前身、ビデオチャネルの化学部門が担ってきた。伊藤忠RLは「変わり者」が発想の原点。「ビデオチャネル」と思われる「プチストレス」の解消を目的とした。IRLは「そこ？」を掘る。多摩美術大学とのミーティングの様子。

「失敗恐れず年数百件は試作。提案は原則すべて試作しており、失敗作も3ケタに達する」

IRLの事業は伊藤忠RL前身、ビデオチャネルの化学部門が担ってきた。伊藤忠RLは「変わり者」が発想の原点。「ビデオチャネル」と思われる「プチストレス」の解消を目的とした。IRLは「そこ？」を掘る。多摩美術大学とのミーティングの様子。

グラフィックス 細井 桃子